

須坂市教育委員会 5月定例会 会議録

1 日 時 2021年5月27日(木) 午後1時30分～午後3時30分

2 場 所 南部地域公民館 講堂

3 出席した委員

教育長	小林 雅彦
教育長職務代理者	二ノ宮邦彦
教育委員	土屋 保男
教育委員	水上 智恵
教育委員	山下美知子

4 説明のため出席した職員

教育次長	清水 秀一
学校教育課長	中村 健司
子ども課長	小林 昌幸
人権同和教育課長	牧 俊彦
学校給食センター所長	北堀 智
文化スポーツ課長	田中 賢一
生涯学習推進課長	山岸 一延
主任指導主事	後藤 昭彦
指導主事	竹前 金三
指導主事	宮崎 健
指導主事	北村 雅

5 事務局出席職員

庶務係長	小林 貴彦
庶務係担当係長	安川 尚義

6 本日の会議に付した事項

1 学校等の状況報告について

2 議 題

議案第15号 須坂市教育委員会規則で定める様式における押印の取り扱いの特例に関する規則についてについて

議案第 16 号 須坂市教育委員会訓令で定める様式における押印の取り扱いの特例に関する規程についてについて

議案第 17 号 須坂市教育委員会規程で定める様式における押印の取り扱いの特例に関する規程についてについて

議案第 18 号 須坂市立学校職員服務規程の一部を改正する規程について

議案第 19 号 須坂市伝統的建造物群保存地区保存条例制定について

議案第 20 号 須坂市伝統的建造物群保存地区保存条例施行規則の制定について

議案第 21 号 須坂市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則について

議案第 22 号 須坂市社会教育委員の委嘱について

3 協 議

- (1) 「幼児期からはいま非認知能力を育む取り組みはどうあったらよいか」
(第 1 回「須坂市子どもの学びのあり方検討会議」テーマ)

4 一般行政報告

- (1) 教育長出席行事の報告について
- (2) 行事共催等承認の報告について
- (3) 6 月補正予算 (案) について
- (4) 新型コロナウイルス感染症対策について

5 その他

- (1) 教育委員会行事予定について
- (2) 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について
- (3) その他

小林教育長が開会を宣した。

1 学校等の状況報告について

教育長が説明を求めた。

後藤主任指導主事が説明した。

- ・ 令和 2 年 5 月 1 日現在の小学校の児童数は、2527 人。5 年前と比べて 190 人減少。中学校は 1323 人で、5 年前と比べて 167 人減少している。
- ・ 4 月定例会で質問のあった墨坂中学校の「フォーサイト手帳」については、生徒がセルフマネジメントの行動、思考習慣を身に付けられるように開発されたプログラムである。フォーサイト手帳に学習等の計画を記載し、実行と振り返りを行うもの。取り組みの状況については、もう少し先に進んだところで子ど

もたちの様子を学校に聞いてみたい。

二ノ宮代理：特別支援学校の児童生徒について、男女比で男子が多いのは何か理由はあるのか。また、不登校についても男女比はどうなっているか。

→竹前指導主事：

特別支援学校については、経験値から申し上げると7：3で男が多い。県立の他の学校でも同じような状況。

→後藤主任指導主事：

不登校については、男女比に大きな差はない。学年によって男女比に差が出る場合があるが、全体的には差がない。

2 議 題

議案第 15 号 須坂市教育委員会規則で定める様式における押印の取り扱いの特例に関する規則についてについて

議案第 16 号 須坂市教育委員会訓令で定める様式における押印の取り扱いの特例に関する規程についてについて

議案第 17 号 須坂市教育委員会規程で定める様式における押印の取り扱いの特例に関する規程についてについて

議案第 18 号 須坂市立学校職員服務規程の一部を改正する規程について

議案第 19 号 須坂市伝統的建造物群保存地区保存条例制定について

議案第 20 号 須坂市伝統的建造物群保存地区保存条例施行規則の制定について

議案第 21 号 須坂市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則について

議案第 22 号 須坂市社会教育委員の委嘱について

教育長からの求めで、議案第 15 号から第 22 号まで一括して、担当課長が説明した。それぞれ特に意見・質問無く、承認された。

3 協 議

(1) 「幼児期からはいま非認知能力を育む取り組みはどうあったらよいか」

(第 1 回「須坂市子どもの学びのあり方検討会議」テーマ)

会議資料「園・小接続カリキュラムの開発」の内容や日頃感じていることについて、教育長が委員に意見を求めた。

二ノ宮代理：自分自身も教育は小学校からだと思っていたところがあった。

幼稚園、保育園でできあがりつつある子どもを、小学校に入ると、学校の規律や勉強に邁進させようとするのはちょっと間違いではないかと感じるようになってきた。

「園・小接続カリキュラムの開発」の3、4ページのチェック欄の内容を学校の先生がチェックしながら、新しい形のつながりを作っているとよいと感じている。

2ページに個別支援が必要な子どもが増えたとあるが、10年前と比べて本当に増えているのかと思った。

→竹前指導主事：

先生の考え方の硬直化もあると思う。対応する幅が狭くなってきている。特別支援学級が認知され増えていった中で、対象児童をとりあえず特別支援学級に振り分けてしまうことが増え、児童数が増えたことということもある。

発達障害（ADHD や自閉症等）の診断を受けている子どもはデータ的に増えている。去年のデータで県内の小中学生 5.8%の子どもが診断を受けている。

土屋委員：親の考え方もある。テストで点がとれる子どもを育てて欲しいのか、もう少し野性味のある子どもを育てて欲しいのか、その辺りが理解できないところがある。小学校の時には思いやりや優しさを備えた子どもを育てて欲しいと感じた。

水上委員：森上小学校のPTA 会長と話した時に、子供たちを指導するのではなく、保護者の考え方を変えないといけないという話があった。考え方を変えないといけない保護者の方が、かえって講演会などで学校に来ない。

山下委員：自分が小学生だった時は特別支援の環境は整っていなかったもので、そういう子どもも同じクラスにいた。そのような環境で、自分と少し違う人もいるということを知った。また、自分の息子が1年生の時の担任の先生は、宿題を出すこともなく自由にさせてくれた。お陰で子どもは外でよく遊ぶようになった。ただ、そのような先生の指導をけしからんと言う親もいた。先生も大変で、自分の身を守ることが多くなると、教育に対して積極的になれなくなってしまっているのではないかと感じた。

保育園で頑張ってきたこと、その子ができることが、小学校の先生にも伝わっていると、子どもが失敗した時でもフローができると思う。

教育長：子ども達にどういう力を付けていってもらおうか、全国の大人が腹を決めないとなかなか変わらない。

4 一般行政報告

(1) 教育長出席行事の報告について

教育長が主だった出席行事について説明した。

・ 4月 28日 GIGA スクール構想推進委員会

市教委の主導で GIGA スクールを進めて行かないと、学校によってレベルの差が大きくなってしまうため、GIGA スクール構想推進委員会を立ち上げた。

ICT を使うことは難しい部分も含まれている。効率よくやればできるが、余りにもそこに固執してしまうと本来の目的から離れてしまうというもどかしさもある。先生方が色々と試行錯誤している頑張りに支援をしていきたい。

・ 4月6～7日、10日公立保育園巡回

保育園と小学校の接続について、保育士も意識して前向きに捉えている。小学校と保育園がつながっていくことが大事だと考えている。

豊丘小学校と豊丘保育園では早速、交流が始まっている。小学校1、2年生の生活科のカリキュラムに保育士が加わって一緒に考えている。

(2) 行事共催等承認の報告について

小林教育長が説明を求め、中村学校教育課長が説明した。

・ 後援事業が6件、共催事業が1件。内2件が新規。

(3) 6月補正予算（案）について

小林教育長が説明を求め、各課長が説明した。

(4) 新型コロナウイルス感染症対策について

小林教育長が説明を求め、中村学校教育課長が説明した。

5 その他

(1) 教育委員会行事予定について

小林教育長が説明を求め、各課長等が説明した。

次回定例会は6月25日（金）午後2時00分に決定した。

(2) 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について

小林教育長が説明を求め、中村学校教育課長が説明した。

(3) その他

なし

小林教育長が閉会を宣した。